

## IV 調査票

### 令和4年度 宮崎市男女共同参画に関する市民意識調査のお願い

本調査については、市内にお住まいの18歳以上の方から無作為に抽出させていただいた市民の皆様をお願いしております。

日頃から、宮崎市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

宮崎市では、「宮崎市男女共同参画社会づくり推進条例」（平成18年1月1日施行）、および「第2次宮崎市男女共同参画基本計画（改訂版）」（平成31年度～令和5年度）に基づいて、男女共同参画社会づくりを進めております。

今回の調査は、令和5年度に「第3次宮崎市男女共同参画基本計画」を策定するにあたり、市民の皆様の男女共同参画に関するお考えや生活の実情などを把握し、計画の見直しに向けた基礎データの収集と分析を行うために実施するものです。

ご回答いただいた内容は、上記以外の目的には使用いたしません。また、無記名でご回答いただくため、回答者個人が特定されることもございませんので、率直なご意見をお聞かせください。調査結果は冊子にまとめるとともに、市ホームページで公表し、計画の策定に活用してまいります。

つきましては、ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和4年6月

宮崎市長 清山 知憲

#### 【返信にあたってのお願い】

アンケートの記入がお済みになりましたら、お手数ですが、記入漏れがないかご確認のうえ、同封の返信用封筒（切手不要）に本調査票を入れて、ご提出ください。

封筒に氏名は記入せずに投函してください。

#### 【インターネットでの回答】

本調査は、インターネットからも回答できます。スマートフォンで右の

**QRコード**からアクセスし、アンケートフォームに回答を入力してください。

※回答は、郵送またはインターネットいずれか一方のみでお願いいたします。



QRコード

回答期限は、郵送・インターネットともに**令和4年7月19日（火）**まで。



©宮崎市

#### 【本アンケートに関するお問合せ先】

宮崎市地域振興部 文化・市民活動課 市民活動・男女共同参画係

電話：0985-21-1835

### 【ご記入にあたってのお願い】

- 1 調査票は、封筒の宛名の方ご本人がご回答ください。  
本人による回答が困難な場合は、ご本人の意向を確認のうえ、家族や代理の方が記入してください。
- 2 回答には、選択肢の番号に○を付けてお選びいただくものと、自由に記述いただくものがあります。なお、「その他」に該当する場合（ ）内には具体的な内容をご記入ください。
- 3 ○を付ける場合は、（○は1つ）、（○はいくつでも）等の設問ごとの案内に従ってお付けください。
- 4 設問によっては、一部の方だけに回答をお願いしているものがあります。  
その場合は、説明文にそってお答えください。
- 5 答えたくない設問がある場合、無理に回答いただく必要はありません。

### 【男女共同参画社会とは？】

「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」のことです。

（男女共同参画基本法第2条）

## 1. あなた自身のことについておたずねします

問1 ご回答を統計的に分析するため、あなたの戸籍上の性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性
3. 答えたくない

問2 あなたの年齢は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

1. 18歳～19歳
2. 20～29歳
3. 30～39歳
4. 40～49歳
5. 50～59歳
6. 60～69歳
7. 70歳以上

問3 あなたの職業は次のどれにあたりますか。(○は1つ)

- |                           |       |
|---------------------------|-------|
| 1. 勤め人（常勤） ※育休取得者等含む      | → 問4へ |
| 2. 勤め人（役員）                | → 問5へ |
| 3. 勤め人（非常勤）※パートタイム、アルバイト等 |       |
| 4. 自営業（経営者、農林水産業、家業の手伝い等） |       |
| 5. その他の仕事                 |       |
| 6. 学生                     |       |
| 7. 専業主婦、主夫                |       |
| 8. 無職                     |       |

問4 問3で「勤め人（常勤） ※育休取得者等含む」と答えた方におたずねします。

あなたは、現在働いている会社などで昇進したいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問5 あなたは結婚していच्छいますか。(○は1つ)

1. 結婚している
2. 結婚していないがパートナー（同性のパートナーを含む）と暮らしている
3. 離別
4. 死別
5. 結婚したことはない
6. 答えたくない

問6 あなたにはお子さんがいच्छいますか。成人しているお子さんや別居しているお子さんも含めてお答えください。(○は1つ)

1. いる
2. いない
3. 答えたくない

## 2. 男女共同参画社会に関する意識について

問7 あなたは、次にあげるような分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。「1」～「6」の中からあなたの気持ちに最も近い番号1つに○をつけてください。(○はそれぞれ1つずつ)

|                    | 男性の方が非常に優遇されている | どちらかといえば男性の方が優遇されている | 平等 | どちらかといえば女性の方が優遇されている | 女性の方が非常に優遇されている | わからない |
|--------------------|-----------------|----------------------|----|----------------------|-----------------|-------|
| A 家庭生活             | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |
| B 職場               | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |
| C 学校教育の場           | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |
| D 政治の場             | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |
| E 法律や制度の上          | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |
| F 社会通念・慣習・しきたりなど   | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |
| G 自治会やPTAなどの地域活動の場 | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |
| H 社会全体             | 1               | 2                    | 3  | 4                    | 5               | 6     |

問8 これらの言葉について、あなたは見たか聞いたことがありますか。(○はそれぞれ1つずつ)

|                                   | 見たか聞いたことがありますか |    |
|-----------------------------------|----------------|----|
|                                   | ある             | ない |
| A 男女共同参画社会                        | 1              | 2  |
| B 女性活躍推進法                         | 1              | 2  |
| C ジェンダー（社会的・文化的に形成された性別）          | 1              | 2  |
| D 配偶者などからの暴力（DV）                  | 1              | 2  |
| E 交際中の二人の間で起こる暴力（デートDV）           | 1              | 2  |
| F リプロダクティブ・ヘルス/ライツ（性と生殖に関する健康/権利） | 1              | 2  |
| G 性的少数者（LGBTQ等）                   | 1              | 2  |
| H 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）          | 1              | 2  |
| I SDGs（持続可能な開発目標）                 | 1              | 2  |
| J ジェンダー・ギャップ指数                    | 1              | 2  |

問 9 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。  
(○は1つ)

- |               |             |
|---------------|-------------|
| 1. 賛成         | → 問 9 - 1 へ |
| 2. どちらかといえば賛成 |             |
| 3. どちらかといえば反対 | → 問 9 - 2 へ |
| 4. 反対         |             |
| 5. わからない      | → 問 10 へ    |

問 9 - 1 問 9 で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた方におたずねします。

それはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 日本の伝統的な家族の在り方だと思うから
2. 自分の両親も役割分担をしていたから
3. 夫が外で働いた方が、多くの収入を得られると思うから
4. 妻が家庭を守った方が、子供の成長などにとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは大変だと思うから
6. 特にない
7. わからない
8. その他 ( )

問 9 - 2 問 9 で「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた方におたずねします。

それはなぜですか。(○はいくつでも)

1. 男女平等に反すると思うから
2. 自分の両親も外で働いていたから
3. 夫も妻も働いた方が、多くの収入が得られると思うから
4. 妻が働いて能力を発揮した方が、個人や社会にとって良いと思うから
5. 家事・育児・介護と両立しながら、妻が働き続けることは可能だと思うから
6. 固定的な夫と妻の役割分担の意識を押しつけるべきではないから
7. 特にない
8. わからない
9. その他 ( )

問 10 「男の子は、男の子らしく」、「女の子は、女の子らしく」育てるという考え方について、あなたは  
どのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 同感する
2. どちらかといえば同感する
3. どちらかといえば同感しない
4. 同感しない
5. わからない

問 1 1 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加し、主体的に関わっていくためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○はいくつでも）

1. 男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配の方やまわりの方が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事・育児などについても、その評価を高めること
6. 男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること
7. 労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどの I C T を利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
8. 男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと
9. 男性が家事・育児などを行うための、仲間（ネットワーク）作りをすすめること
10. 特に必要なことはない
11. その他（ ）

問 1 2 宮崎市の男女共同参画社会の形成に関する拠点施設「宮崎市男女共同参画センター（パレット）」を利用したことがありますか。（○は 1 つ）

1. 利用したことがある
2. 知っているが利用したことはない
3. 知らない

問 1 3 「男女共同参画社会に関する意識」について、ご意見等ありましたらご記入ください。

|  |
|--|
|  |
|--|

### 3. 女性の活躍推進について

問 1 4 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(○は1つ)

1. 女性は職業をもたない方がよい
2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい
3. 子供ができるまでは、職業をもつ方がよい
4. 子供ができて、ずっと職業を続ける方がよい
5. 子供ができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい
6. わからない
7. その他 ( )

**問15** あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに妨げとなるものは何だと思いますか。(〇はいくつでも)

1. 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
2. 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
3. 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
4. 長時間労働の改善が十分ではないこと
5. 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
6. 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
7. 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
8. 特にない
9. わからない
10. その他（ ）

問16 あなたは、女性が管理職以上に昇進することについて、どのようなイメージを持っていますか。  
(○はいくつでも)

1. やりがいのある仕事ができる
2. 賃金が上がる
3. 能力が認められた結果である
4. 家族から評価される
5. 自分自身で決められる事柄が多くなる
6. やるべき仕事が増える
7. 責任が重くなる
8. やっかみが出て足を引っ張られる
9. 仕事と家庭の両立が困難になる
10. 特にない
11. わからない
12. その他（ ）

問17 「女性の活躍推進」について、ご意見等ありましたらご記入ください。

|  |
|--|
|  |
|--|

## 4. ハラスメントについて

**問 18** **お仕事をされている方(または以前されていた方)におたずねします。**あなたは、職場において、次にあげるようなハラスメントを受けたことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 受けたことがない → 問 19へ
2. セクシュアルハラスメント(性的嫌がらせ)
3. パワーハラスメント  
(職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を利用した嫌がらせ)
4. マタニティハラスメント(妊娠・出産・育児に関する嫌がらせ)
5. ソジハラスメント(性自認や性的指向に関する嫌がらせ)
6. その他 ( )

→ 問 18-1へ

**問 18-1** **問 18で「2」～「6」と答えた方におたずねします。**

あなたは、そのときどこ(だれ)かに相談しましたか。(○はいくつでも)

1. どこ(だれ)にも相談しなかった → 問 18-2へ
2. 職場の相談窓口
3. 職場の人事担当部署
4. 職場の上司
5. 職場の同僚
6. 家族・親戚
7. 友人・知人
8. 宮崎市男女共同参画センター(パレット)
9. 宮崎県男女共同参画センター
10. 宮崎労働局雇用環境・均等室
11. その他 ( )

→ 問 19へ

**問 18-2** **問 18-1で「どこ(だれ)にも相談しなかった」と答えた方におたずねします。**

それはなぜですか。(○はいくつでも)

1. どこ(だれ)に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談してもむだだと思ったから
4. 相談するほどのことではないと思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 自分にも悪いところがあると思ったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 仕返しが怖かったから
10. 他人を巻き込みたくなかったから
11. その他 ( )

**問 19** 「ハラスメント」について、ご意見等ありましたらご記入ください。

## 5. ワーク・ライフ・バランスに関する意識について

生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先度についてお伺いします。

問 2 0 あなたの「希望」に最も近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先したい
2. 「家庭生活」を優先したい
3. 「地域・個人の生活」を優先したい
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
8. わからない

問 2 0 - 1 あなたの「現実・現状」に最も近い番号に○をつけてください。(○は1つ)

1. 「仕事」を優先している
2. 「家庭生活」を優先している
3. 「地域・個人の生活」を優先している
4. 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
5. 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
6. 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
7. 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
8. わからない

問 2 1 問 2 0 と問 2 0 - 1 の回答が異なる理由（ワーク・ライフ・バランスの希望と現実・現状に差がある理由）や、「ワーク・ライフ・バランス」についてご意見等ありましたらご記入ください。  
※ワークライフバランスとは、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自ら希望するバランスで展開できる状態のこと。

## 6. 新型コロナウイルスの影響について

問 2 2 新型コロナウイルス感染拡大前と比べて、「仕事」、「家庭生活」、地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」に変化はありましたか。(○はいくつでも)

1. 職に就いた
2. 職を失った
3. 収入が増えた
4. 収入が減った
5. 労働時間が増えた
6. 労働時間が減った
7. 仕事面での影響があった
8. 仕事面での影響はなかった
9. 家事・育児・介護に取り組む時間が増えた
10. 家事・育児・介護に取り組む時間が減った
11. 家庭生活への影響はなかった
12. 地域・個人の生活に取り組む時間が増えた
13. 地域・個人の生活に取り組む時間が減った
14. 地域・個人の生活への影響はなかった

問 2 3 「新型コロナウイルスの影響」について、ご意見等ありましたらご記入ください。(コロナ禍で男女共同参画について気付いたこと等)

## 7. 多様な性を尊重する社会づくりについて

問24 現在、あなた自身が認識している性別（性自認）を教えてください。（○は1つ）

1. 男性
2. 女性
3. どちらともある・どちらともない
4. わからない
5. 決めたくない
6. 答えたくない
7. その他 ( )

問25 あなたが恋愛感情を持つ相手の性別を教えてください。(○は1つ)

1. 男性
2. 女性
3. 男性・女性（どちらにも恋愛感情を持つ）
4. わからない
5. 決めたくない
6. 恋愛したいと思わない
7. その他（ ）

問26 現在、性的少数者（LGBTQ等）の方々にとって生活しづらい社会だと思いますか。（○は1つ）

1. そう思う  
2. どちらかといえばそう思う  
3. どちらともいえない  
4. どちらかといえばそう思わない  
5. そう思わない
- 問 2 7 へ  
→ 問 2 8 へ

問26で「そう思う」または「どちらかといえばそう思う」と答えた方におたずねします。

そのように思う理由は何ですか。(○はいいくつでも)

1. いじめ(悪口、いやがらせ)を受けるから
2. 自らが認識する性とは異なる性のふるまいを強要されるから  
(トイレ、着替え、服装、言葉遣いなど)
3. 申請書などに性別の記入を求められるから
4. 家族・友人・職場などにおいて相談できる相手がいないから
5. 学校生活・就労の場などで不利・不当な扱いを受けるから
6. 医療や福祉において、法律上の家族と同等のサービスや扱いを受けることができないから
7. 公営・民間住宅でパートナーと住む際に困難があるから
8. 婚姻など国の法整備が不十分であるから
9. 自治体の条例が不十分であるから
10. 行政機関などの相談・支援体制が不十分であるから
11. その他 ( )

問 2 8 性的少数者（L G B T Q等）に関する偏見がなくなり、性的少数者（L G B T Q等）の方が生活しやすくなるためには、行政はどうすべきだと思いますか。（○はいくつでも）

1. 子どもの頃から正しい知識を得られるような教育の充実
2. 行政機関や民間企業での理解の促進と、安心して働くことができる環境の整備
3. 講演会や講座等の開催など啓発活動の推進
4. 啓発パンフレットの配布など市民の理解の向上
5. 公共施設や民間施設での多目的トイレの増設
6. 各種申請書などにおける不要な性別欄の廃止
7. 相談窓口（電話相談など）の設置と積極的な窓口の周知
8. 宮崎市パートナーシップ宣誓制度（※）を広く知ってもらうための広報や、宣誓することで利用できる行政サービスの充実  
※「宮崎市パートナーシップ宣誓制度実施要綱」に基づき、パートナーシップの宣誓による宣誓書受領証の交付を通じ、性的少数者（L G B T Q等）の方々が抱える生きづらさの解消につなげるものです。
9. 性的少数者（L G B T Q等）の権利擁護に特化した条例の整備
10. 性的少数者（L G B T Q等）を含め、あらゆる差別の根絶を目指す条例の整備
11. 何もする必要はない
12. わからない
13. その他（ ）

問 2 9 「多様な性を尊重する社会づくり」について、ご意見等ありましたらご記入ください。

## 8. 配偶者などからの暴力（DV）について

問30 あなたは現在、どちらにあてはまりますか。（○は1つ）

※ここでの「結婚」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、同性同士のパートナー関係も含みます。

1. 現在、結婚されている方（現在、夫又は妻・パートナーがいる）、 → 問31へ  
離別・死別された方（結婚していたが、離婚・死別した）
2. 未婚の方（結婚したことはない・パートナーがいたことはない） → 問39へ

問31 あなたはこれまでに、配偶者などから次のA～Dのような暴力等を受けたことがありますか。

A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれ1つずつ）

なお、ここでの「配偶者」には、婚姻届を出していない事実婚や別居中の夫婦、元配偶者（離別・死別した相手、事実婚・同性同士のパートナー関係を解消した相手）も含みます。（以下、同様）

|                                                                                                                                   | まったく<br>ない | 1、2度<br>あった | 何度も<br>あった |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-------------|------------|
| A 身体的暴行<br>（例：なぐったり、けったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの<br>身体に対する暴行）                                                                       | 1          | 2           | 3          |
| B 心理的攻撃<br>（例：人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、電話・メールなどを<br>細かく監視したり、長期間無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、<br>自分もしくは自分の家族に危害が加えられるのではないかと恐怖<br>を感じるような脅迫） | 1          | 2           | 3          |
| C 経済的圧迫<br>（例：生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われる、外で働くことを<br>妨害されるなど）                                                                          | 1          | 2           | 3          |
| D 性的強要<br>（例：嫌がっているのに性的な行為を強要される、見たくないポルノ映像等<br>を見せられる、避妊に協力しないなど）                                                                | 1          | 2           | 3          |

問31において、「1、2度あった」または「何度もあった」に1つでも○がある方は問32へ、  
1つも○がない方は問39へお進みください。

**問32** あなたはこれまでに、配偶者などからの暴力（DV）を受けたとき、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. どこ（だれ）にも相談しなかった → 問33へ

- 2. 配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所等）や男女共同参画センターに相談した
- 3. 警察に連絡・相談した
- 4. 民生委員・児童委員に相談した
- 5. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
- 6. 上記（2～5）以外の公的な機関（市役所など）に相談した
- 7. 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した
- 8. 医療関係者（医師、看護師など）に相談した
- 9. 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した
- 10. 職場・アルバイトの関係者（上司、同僚、部下、取引先など）に相談した
- 11. 家族や親戚に相談した
- 12. 友人・知人に相談した
- 13. その他（具体的に

→ 問34へ

**問33** どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

- 1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから
- 2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
- 3. 相談してもむだだと思ったから
- 4. 相談するほどのことではないと思ったから
- 5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
- 6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
- 7. 自分にも悪いところがあると思ったから
- 8. そのことについて思い出したくなかったから
- 9. 仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）
- 10. 世間体が悪いと思ったから
- 11. 他人を巻き込みたくなかったから
- 12. 他人に知られると、これまで通りの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
- 13. 自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから
- 14. 相手の行為は愛情表現だと思ったから
- 15. 別れるつもりがなかったから
- 16. その他（具体的に

)

**問34** あなたは、配偶者などからの暴力（DV）を受けたとき、どうしましたか。最もあてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

1. 別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった → 問35へ

- 2. 別れたい（別れよう）とは思わなかった
- 3. 別れた

→ 問37へ

問35 あなたが、配偶者などと別れなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. 子供がいる（妊娠した）から、子供のことを考えたから → 問36へ

2. 仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）
3. 経済的な不安があったから
4. 世間体が悪いと思ったから
5. 周囲の人から、別れることに反対されたから
6. 相手が別れることに同意しなかったから
7. 相手が変わってくれるかもしれないと思ったから
8. これ以上は繰り返されないと考えたから
9. 相手には自分が必要だと思ったから
10. 別れるとさびしいと思ったから
11. 孤立してしまうと思ったから
12. その他（具体的に

→ 問37△

問 3 6 あなたが、子供のことで配偶者などと別れなかった主な理由は何ですか。あてはまる番号に○をつけてください。(○は3つまで)

1. 子供をひとり親にしたくなかったから
2. 子供にこれ以上余計な不安や心配をさせたくないから
3. 相手と子供だけで暮らすことになった場合、子供に危害が加えられる恐れがあったから
4. 子供が反対したから
5. 出ていくなら子供を置いていけと言われたから
6. 相手に親権を奪われ、子供と離ればなれになる恐れがあったから
7. 子供の保育所や学校の問題（子供が転校を嫌がる、保育所への転入が難しいなど）
8. 養育しながら生活していく自信がなかったから
9. その他（具体的に

問 3 7 あなたはこれまでに、配偶者などからの暴力（DV）を受けたとき、命の危険を感じたことがありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけてください。（○は 1 つ）

1. 感じた
2. 一度も感じなかった
3. その他（具体的に

問38 「配偶者などからの暴力（DV）」について、ご意見等ありましたらご記入ください。

|  |
|--|
|  |
|--|

## 9. 交際中の二人の間で起こる暴力（デートDV）について

問39 あなたには、これまでに交際相手（同性の交際相手を含みます）がいましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。現在、結婚している方については、結婚前についてお答えください。

（○は1つ）

なお、ここという「交際相手」には、婚姻届を出していない事実婚は含みません。（以下、同様）

1. 交際相手がいた（いる） → 問40へ
2. 交際相手はいなかった → **以上で調査は終了になります。**ご協力、ありがとうございました。

問40 あなたはこれまでに、交際相手から次のA～Dのような暴力等を受けたことがありますか。

A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はそれぞれいくつでも）

|                                                                                                                                       | まったく<br>ない | 10歳代<br>にあった | 20歳代<br>にあった | 30歳代<br>以上<br>にあった |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|--------------|--------------|--------------------|
| A 身体的暴行<br>(例：なぐったり、けったり、物を投げつけたり、<br>突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行)                                                                           | 1          | 2            | 3            | 4                  |
| B 心理的攻撃<br>(例：人格を否定するような暴言、交友関係や行き先、<br>電話・メールなどを細かく監視したり、長期間<br>無視するなどの精神的な嫌がらせ、あるいは、<br>自分もしくは自分の家族に危害が加えられるの<br>ではないかと恐怖を感じるような脅迫) | 1          | 2            | 3            | 4                  |
| C 経済的圧迫<br>(例：生活費を渡さない、給料や貯金を勝手に使われ<br>る、外で働くことを妨害されるなど)                                                                              | 1          | 2            | 3            | 4                  |
| D 性的強要<br>(例：嫌がっているのに性的な行為を強要される、<br>見たくないポルノ映像等を見せられる、避妊に<br>協力しないなど)                                                                | 1          | 2            | 3            | 4                  |

問40において、「10歳代にあった」、「20歳代にあった」、「30歳代以上にあった」に  
**1つでも○がある方は問40－1へ、**

**全て「まったくない」に○がある方は以上で調査は終了になります。**

ご協力、誠にありがとうございました。

問 4 0 - 1 また、交際相手の性別はどちらでしたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

1. 異性
2. 同性

問 4 1 あなたはこれまでに、交際相手から暴力（デートDV）を受けたとき、だれかに打ち明けたり、相談したりしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。(○はいくつでも)

1. どこ（だれ）にも相談しなかった → 問 4 2 へ

2. 配偶者暴力相談支援センター（婦人相談所等）や男女共同参画センターに相談した
3. 警察に連絡・相談した
4. 法務局・地方法務局、人権擁護委員に相談した
5. 上記（2～4）以外の公的な機関（市役所など）に相談した
6. 民間の専門家や専門機関（弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど）に相談した
7. 医療関係者（医師、看護師など）に相談した
8. 学校関係者（教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど）に相談した
9. 職場・アルバイトの関係者（上司、同僚、部下、取引先など）に相談した
10. 家族や親戚に相談した
11. 友人・知人に相談した
12. その他（具体的に

→ 問 4 3 へ

問 4 2 どこ（だれ）にも相談しなかったのは、なぜですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。  
(○はいくつでも)

1. どこ（だれ）に相談してよいのかわからなかったから
2. 恥ずかしくてだれにも言えなかったから
3. 相談してもむだだと思ったから
4. 相談するほどのことではないと思ったから
5. 相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから
6. 自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから
7. 自分にも悪いところがあると思ったから
8. そのことについて思い出したくなかったから
9. 仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）
10. 世間体が悪いと思ったから
11. 他人を巻き込みたくなかったから
12. 他人に知られると、これまで通りの付き合い（仕事や学校などの人間関係）ができなくなると思ったから
13. 自分が受けている行為がDVとは認識していなかったから
14. 相手の行為は愛情表現だと思ったから
15. 別れるつもりがなかったから
16. その他（具体的に

問4 3 あなたは、交際相手からの暴力（デートDV）を受けたとき、どうしましたか。最もあてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

- |                           |           |
|---------------------------|-----------|
| 1. 別れたい（別れよう）と思ったが、別れなかった | → 問4 4へ   |
| 2. 別れたい（別れよう）とは思わなかった     | } → 問4 5へ |
| 3. 別れた                    |           |

問4 4 あなたが、交際相手と別れなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

1. 仕返しが怖かったから（もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど）
2. 経済的な不安があったから
3. 世間体が悪いと思ったから
4. 周囲の人から、別れることに反対されたから
5. 相手が別れることに同意しなかったから
6. 相手が変わってくれるかもしれないと思ったから
7. これ以上は繰り返されないと考えたから
8. 相手には自分が必要だと思ったから
9. 別れるとさびしいと思ったから
10. 孤立してしまうと思ったから
11. 子供がいる（妊娠した）から、子供のことを考えたから
12. その他（具体的に

)

問4 5 あなたはこれまでに、交際相手からの暴力（デートDV）を受けたとき、命の危険を感じたことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。（○は1つ）

1. 感じた
2. 一度も感じなかった
3. その他（具体的に

)

問4 6 「交際中の二人の間で起こる暴力（デートDV）」について、ご意見等ありましたらご記入ください。

以上で調査は終了になります。ご協力、誠にありがとうございました。

ご記入漏れがないか、もう一度お確かめのうえ、同封の返信用封筒（切手不要）にて

令和4年7月19日（火） までにご投函ください。



©宮崎市

**【本アンケートに関するお問合せ先】**

宮崎市地域振興部 文化・市民活動課 市民活動・男女共同参画係  
電話：0985-21-1835